

情 報 公 開 文 書

研究の名称	有限要素法によるテリパラチドとビスホスホネートの骨強度に及ぼす効果の検討
整理番号	R2018165
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系 整形外科・運動器病学 助教 関 庄二
研究の概要	【研究対象者】 2009年1月から2020年3月31日までに富山大学附属病院整形外科において、骨粗鬆症を有し変形性脊椎症に対して手術を受けられた患者さん 【研究の目的・意義】 骨粗鬆症の評価は、DXAによる骨密度測定により行われているが、CTデータを用いた有限要素法や構造解析など新しい評価を行うことが可能となってきた。CTデータを用いて有限要素解析を行い、推定骨強度を算出、薬物治療の影響の評価、DXAによる骨密度との比較検討を行う。 【研究の方法】 CTデータを用いて有限要素解析を行い、推定骨強度を算出、薬物治療の影響の評価、DXAによる骨密度との比較検討を行う。 【研究期間】 2019年3月22日 ～ 2023年3月31日 【研究結果の公表の方法】 学会発表および研究論文として報告することを予定しています。 研究成果の発表には、研究対象者の方個人を特定することが可能な情報は一切含まれません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	DXA・CT・骨代謝マーカーのデータ、性別、年齢、薬物治療の情報を研究代表機関（浜の町病院）へ提供します。 なおその際は個人を特定する情報を削除し、匿名化の上で行います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 整形外科 部長 馬渡 太郎
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 整形外科 部長 馬渡 太郎
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7353 FAX 076-434-5035 E-mail seki@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系整形外科 担当医師 関 庄二